

花爛漫

訓 自 律
英 知
校 鍛 錬



宇城市立三角中学校
学校新聞
令和4年12月13日
編集代表
校長 橋口 京輔

三角中ホームページのQRコードはこちらです。

主体的に取り組む生徒会活動を期待する！ 校長室より

先日、生徒会役員選挙（立会演説と投票）が実施されました。この生徒会役員選挙はそれに係る活動を通じて自治意識を高め、より良い三角中学校を築いていくためのスタートとなる大切な行事です。



所支三角はより掲載台は三角支所より借用しました

立候補した皆さん、そして選挙管理委員の皆さん、お疲れさまでした。これからの三角中学校をよろしくお願ひします。

旧執行部の三年生（山

口会長、吉田副会長、釜賀書記、大鶴議長、田崎副議長）が主体となつて創りあげてくれた今の三角中を引き継ぎ、もっとよりよい学校にするために、立会演説会で話した三つの公約を行います。

先程旧執行部三年生のみなさんのことを書きましたが、各委員会の委員長や副委員長、三年生の委員のみなさんがいなかったら、今の三角中はこんなにも素晴らしい学校になつていなかったと思います。みなさんが第一線を退くことで私たち後輩には不安が残りますが、生徒全員で協力して

三つの公約を実行！ 二年 高山 祥



こんには、新生徒会長になりました。高山祥です。僕の目指す学校は、ありのままの自分に自信が持てる明るい学校です。

最後に、生徒会長になるにあたっての決意として、みなさんがこれから一年を通しての活動で「楽しく」と言えるように、新執行部全員で頑張ってください。どうぞよろしくお願ひ致します。

責任感の大切さを学んだ 三年 山口 駿



僕は、この一年間生徒会長として様々な体験をし、学びを得ることができました。

また、次期生徒会執行部、そして一・二年生の皆さんには、今以上に明るく居心地の良い学校を作つていてもらいたいと思います。

今年の十二月末から生徒会長という大きな仕事を任せられ、初めは不安や恐怖心でいっぱい、失敗の立て続けでした。

改めて、一年間本当にありがとうございました。

次の世代へバトンタッチ

生徒会役員選挙 11月30日(水)

名が今回立候補してくれました。候補者は自分の思い(どのような学校を目指すのか、そのためにどのようなことをやっつけていきたいか等)を堂々とノー原稿で発表してくれました。

現状をそれぞれがしっかりと捉え、「こういう学校にしたい」「こういう学校でありたい」、そのためには「こういうことをしたい」と演説時間三分と

自分の思い、考えをまとめ、精一杯話しをしてきました。演説を聞く生徒たちも真剣な眼差しで聞いていてくれました。それぞれの候補者の演説を聞いて、どの候補者が当選しても三角中のために一生懸命に頑張ってくれること、また新たな三角中の歴史を築いてくれることを確信しました。



選挙ポスター(写真入りです)



投票上の注意

次期生徒会執行部決定！

投票後、選挙管理委員（山口会長、吉田副会長、釜賀書記、大鶴議長、田崎副議長）が開票を行い、次のみなさんが当選しました。

- ◇生徒会長：高山 祥
- ◇副会長（2年）：原口 玲（1年）：西村青里夏
- ◇書記（2年）：松本愛央（1年）：高田莉緒奈

これからの三角中自治活動を
よろしくお願ひします！

校内ロードレース大会・授業参観を行いました！

～応援・参観、ありがとうございました～

12月2日（金）、午前中は校内ロードレース大会、午後は1・2年生の授業参観・懇談会を行いました。

ロードレースは学校周りの外周コースを使い、女子2.2km、男子3.1kmの距離を競いました。速さを競うだけでなく、宣言タイムにどれだけ近いかも競いました。寒空の中、みんなよく頑張りました。



授業参観では、子どもたちの普段の学習の様子を見ていただきました。ご参観、ありがとうございました。

優秀賞おめでとう！

全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会
優秀賞・熊本県人権擁護委員会賞



全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会の表彰式が十日、熊本市中央区の市民会館シアーズホーム夢ホールであり、三角中から三年生の尾崎来未さんが、優秀賞・熊本県人権擁護委員会賞を受賞しました。

ある「普通」とは何なのかを、自身の経験から深く考え綴っていました。県大会の入賞作品を収めた作品集は、来年二月ごろ刊行されるそうです。

「一人の人間として支え合う」という題名の作文の内容は、私たちの中に